

## 発刊にあたって～高倉地域にお住まいの皆さまへ

平素は、地域の「安全：安心：住み良いまちづくり活動」にご協力をたまわり厚くお礼申し上げます。

現在、高倉地域では、防災、防犯・防火・交通安全、子育て、環境、文化、スポーツ、社会福祉全般にわたり、自主的活動を推し進めているところであります。

とりわけ「防災活動」は、皆さまやご家族の生命に直結するものであり、これまで防災訓練を繰り返し実施し、地域で助けあう取組みを進めてまいりました。

今回発行いたします計画は、高倉の地域特性をふまえ、とりわけ住民の皆さまにはご自分の避難場所をお知らせするものになっています。

どうか緊急災害発生時の手引き、参考書として身近に保管し、閲覧いただきますようお願いいたします。

さらに皆さまの防災意識向上の一助となれば幸いかと存じます。

高倉地域活動協議会  
高倉連合振興町会  
高倉地域防災リーダー  
平成28年11月

# 高倉地区防災計画の目的・方針

## 地区防災計画とは

大阪市では、平成26年10月に大阪府から公表された南海トラフ巨大地震による被害想定を踏まえ、「減災」の考え方を防災の基本理念とし、「[大阪市地域防災計画](#)」を見直しました。



大阪市地域防災計画

また、平成27年2月1日から[大阪市防災・減災条例](#)を施行し、市民等の生命・身体・財産を災害から保護するため、市のすべきこと（公助）、市民・事業者の方々にしていただきたいこと（自助・共助）の仕組みづくりを推進しています。



大阪市防災・減災条例

地域の住民や事業者の方々の地域防災活動に関する内容を定め、地域での防災訓練の実施や、食料や水等の備蓄、高齢者等の避難支援など、地域の自発的な「共助」による防災活動を記したものが、「地区防災計画」です。

## この防災計画の対象となるのは

ひとくちに大阪市といっても地域によってさまざまな特性があります。この防災計画では、高倉地域（おおむね高倉小学校区）にお住まいの方、またはお勤めの方などが活用できるよう構成しています。

## この防災計画をより活用していただくために

この防災計画は、都島区役所のホームページにも掲載しています。スマートフォンをお持ちの方はダウンロードして持ち歩けます。



高倉地域防災計画

# 都島区の特徴と予想される被害

## (南海トラフ巨大地震) 都島区における津波浸水の被害想定

平成25年8月および10月に「大阪府防災会議 南海トラフ巨大地震災害対策等検討部会」で、被害想定が公表されました。その結果、都島区でも一部の地域が浸水区域に入りました。

大阪市の湾岸部には地震発生から2時間弱で津波が到達し、最悪の想定の場合、河川堤防がこわれたり、津波が川をさかのぼったり、被害をおよぼす恐れがあるとされています。(平成25年10月30日公表)

### (区の人的被害)

被害状況	死者数
揺れ	17人
火災	1人
屋内落下物	3人
津波	153人

津波被害による死者数  
**0人**

地震発生から10分以内に避難を開始した場合

### (区の物的被害)

被害状況	全壊	半壊
揺れ	423棟	2,411棟
津波	19棟	1,411棟
液状化	2,012棟	4,224棟
火災	11棟	

